

2019 年度会務報告および

2020 年度活動方針

幹事長

石井健司（昭和56年卒）

日頃は東京知道会の活動にご協力をいただきありがとうございます。皆さまご案内のように2020年2月の「東京知道会同窓の集い」は新型コロナウイルス感染症により東京知道会の歴史始まって以来初の中止となり9月に延期となりました。本日は、東京知道会としては初となる対面と Web のハイブリッドの総会を開かせていただきます。

2019年度は、江幡新会長体制でのスタートの年、元号が「平成」から「令和」へと変わり、執行部・各委員会ともメンバーの入れ替わり等がありました。役員、各常置委員長、委員、幹事の全員が力を合わせて1年間の活動ができましたこと、会員はじめ関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

2020年度は新執行部での活動2年目。新型コロナウイルス禍の影響で先が見えない状況の中、今後、安全第一にはなりますが会員の皆さまにご満足いただけるように同窓会活動を進めていきたいと考えております。

以下、簡単ではございますが、2020年2月の同窓の集いの中止のご説明、および、2019年度の報告と2020年度の活動方針についてお知らせいたします。

1. 2020年2月の同窓の集い中止について

幹事学年である平成3年卒の皆さまのご努力により2月22日の「東京知道会同窓の集い」に向けて順調に準備が進む中、新型コロナウイルス感染状況が悪化し、開催懸念の意見も出てきたため、東京知道会幹事会としては1月末から対応検討を開始し、「政府からの集会自粛勧告」を中止判断のトリガーとすることを申し合わせました。その後2月16日深夜に国内感染の拡大を受けて厚生労働大臣らから「高齢者や基礎疾患の方は人ごみや不要不急の集まりは避けていただきたい」との発言があったことを受け、会長・幹事長が中心となって2月17日の13時に中止を決定しました。「同窓の集い」しおりも完成しあとは土曜の当日を待つばかりであったのに週の初めの月曜の昼過ぎに中止決断、1年かけて準備を続けてきた幹事学年である平成3年卒の皆さまの思い、ご参加を楽しみにしていच्छやった会員の皆さまの思いを考えますと、この中止は幹事会としても苦渋の決断でした。

現在、緊急事態宣言は出されていないものの、未だに新型コロナ禍は続いており日々感染者が出てきている状況です。一日も早く新型コロナ禍が収束し皆さまとご一緒できる日を迎えられることを祈っております。

2. 決算について

別紙のとおりであり、収支は黒字となっています。

なお、同窓会の持続性を目指し、2017年度から若手高揚費相当額を山見基金から取り崩すこととしており、若手会員の発掘を目的とした各種活動、具体的には「大学生歓迎会」をはじめ若手や女性会員の発掘を目的とした各種行事への補助として用いさせていただいております。2019年度は、過去3回行っていた「先輩と語る会」を今までのやり方等の反省点や参加者の声を踏まえ見直しを行っているため実施しておりませんので2018年度に比べ若手高揚費の額は減っていますが、「先輩と語る会」については、今後どのような形で行っていくのが効果的か検討を加えたうえで改めて実施していきたいと考えております。また、2019年6月に第2回目となる「大学生歓迎会」をBBQ大会として行い、学生3名の参加を得ることができました。今後も若手会員・大学生向けの企画を検討し実施していければと考えております。

3. 基盤整備について

同窓会活動をトラブルなくスムーズに遂行できるよう、事務局メンバーを強化し、事務局を中心に以下の事項を実施してまいりました。

- ① データ管理・情報共有の円滑化のためのオンラインストレージ導入
- ② 個人情報保護法対応の規定整備
- ③ 事務効率化のための諸施策（オンライン申込フォーム他）
- ④ メーリングリストの移行（組織委員会所管）

今後も幹事会としては効率的に、そして、会員の皆様にとっては安心して気軽に同窓会活動に参加できるような施策を検討し実施していきたいと考えております。

4. 東京・水戸交流会について

2019年9月には恒例となった東京・水戸交流会が東京で行われ、柴又散策・各委員会レベルでの情報交換を行いました。今後、新型コロナ禍の状況にもよるま

すが、この交流会は建設的な意見交換の場として継続的に実施していくとともに、合同イベント等の実施も計画していきたいと考えています。

5. 2020年度の活動方針について

- (1) 2020年度の東京知道会の各種企画については、各種イベントの開催等会員の皆様楽しんでいただける行事を予定していましたが、新型コロナ禍の収束が見えない中、各種イベントは中止とさせていただいております。今後は新型コロナとの共生の時代に合わせ、従来の活動の仕方を時代に合わせて見直したうえで（例えば Web 等の活用も含めた企画の検討実施等）同窓会活動を継続していきたいと考えております。
- (2) 情報発信面については、ホームページのリニューアルを行い、ホームページ・会報・ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）等を使った情報発信の強化をまいります。
- (3) 財務基盤面においては、寄付も含めた財務体質の安定等の課題にも取り組んでいきたいと考えております。

同窓会活動を継続して進めていくために、諸先輩方の築いてきた良き伝統を継承するとともに、次の世代に引き継げるような同窓会活動（繋がっていく同窓会）のお手伝いができればと思っています。

母校も2021年から併設中学校を開校し中高一貫校として新たなステージに変化していきます。医学コースも設置されております。我々同窓会も、時代に合わせ、平成・令和卒業の若手の皆さんや女性会員も参加しやすく、世代や職域等を越えた同窓生が老若男女問わず楽しめるように変わっていくことが必要かと思っており、そのような環境づくりを各委員会や事務局のメンバーと一緒にやっていく所存です。詳細は各委員長からの報告をご確認ください。

最後になりましたが、今後とも会員の皆さまのご健勝とご発展をお祈りするとともに、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。新型コロナ禍収束まで「手洗い・うがい・マスクの3点セット」と「フィジカルディスタンス（physical distancing）」を忘れずに安全安心に過ごしていきましょう。

以上

事務局

事務局長

小澤 光浩（昭和57年卒）

2019 年の会務状況

◎ 事務局の活動

事務局は東京知道会の事務全般を幅広く担当しています。会計、書記、会報発送、ホームページ管理に加え、2019 年は幹事会内のデータ管理・共有を円滑に行うためのオンラインストレージの導入、個人情報保護法への対応を向上させるための規定整備、幹事会やイベントの事務効率化のための申し込みフォーム導入を行いました。また、ゴルフ会と忘年会の運営も担当しています。

◎ ホームページ (<http://tokyo-chido.com/>)

ホームページを用いた情報発信を積極的に行っています。特に「イベント報告」のページでは、東京知道会の各イベントの楽しい様子を掲載しています。

◎ 事務局担当行事

ゴルフ平日会を復活させ、週末会と合わせて春と秋に計4回のゴルフ会を開催し、合計73人のご参加をいただきました。また、忘年会にも約80人の会員のみなさまにご参加いただきました。

2020 年のこれまでの状況

- ・ 2月の「同窓の集い」中止に際し、幹事学年と協力して中止連絡や会費精算等の事後対応を行いました。
- ・ 今後の「同窓の集い」幹事学年がより円滑に準備を進められるように、事務局内に新たに「集いサポート担当」を設置しました。
- ・ コロナ状況下でも同窓会活動を続けられるように、オンライン会議システムを契約し、オンラインでの会議運営を定着させました。
- ・ シンプルで見やすく魅力あるホームページを目指し、事務局内にプロジェクトチームを組んでホームページの全面リニューアルを進めています。
- ・ 会員のみなさまの安全を最優先に考え、ゴルフ会の年内の開催中止と、忘年会の中止を決定しました。

東京知道会では、各委員が仕事や家庭で多忙な中でも、積極的に幹事会活動を行なっています。社会にはコロナの影響がいろいろ出ていますが、こんな時だからこそ同窓会のような日常を離れてホッとすることは重要です。新しい環境下でも各委員が活動を継続できるように、そして東京知道会がさらに盛り上がるように、事務局では今後も知恵を出し合って事務基盤の強化や効率化を進めます。

組織委員会

組織委員長

大井健史（平成1年卒）

組織委員会の主な業務は、東京知道会会員名簿やメーリングリストの管理・運用などの会の基盤整備と会員相互のネットワークの強化です。昨春、委員会には新たに平成2年卒から1名が加わり、メンバーがさらに充実しました。参加学年の幅をさらに広げ、世代を超えた同窓生が老若男女問わず楽しめるような同窓会にしていくために、若手会員向けの企画はもちろん、学生会員・女性会員をよりいっそう増やすための企画も立案し、他委員会との連携も図りながら活動を進めてまいりたいと思っています。

昨年も若手会員や学生を増やすための企画イベントに注力しました。昨今のマラソンブームを受けて、3月に開催された「第4回柏の葉リレーマラソン大会」に「ランニング知道会」チームとしてエントリーし、平成卒中心の11名とその家族で42.195kmをタスキで繋ぎました。東京知道会の行事への参加経験がない卒業生4名の参加につながりました。参加者の好評の声を受け、今年も3月20日（金・祝）柏の葉公園で開催される大会に、既に3チームでのエントリーを済ませております。今から参加を希望される方（ご家族も可）は、2月中に次のアドレスまで（参加者全員の）「氏名、卒年、生年月日、メールアドレス、参加希望」と記載の上、ご連絡ください。＜コロナ影響により中止＞

また、6月には学生向けの企画「大学生歓迎会」として、足立区舎人公園にてBBQ大会を開催しました。カンザスシティBBQ協会公式審査員の資格を持つ守屋誠さん（H10卒）がプロデュースする本場仕込みのBBQに、大学生3名を含む28名の参加者から次々と感嘆の声が上がりました。参加者のほぼ全員から次回開催の希望を受けたため、今年も継続したいと考えています。ただ昨年は、主役である大学生の参加者が少なく、特に、一番参加して欲しかった直近の卒業生の参加がなかった点が残念でした。次回の開催には、少しでも多くの大学生の皆さんに参加していただくべく、情報伝達手

段、開催内容についても見直し、より良い企画にすべく検討していく所存です。〈コロナ影響により中止〉

今年の若手会員・学生向け企画の開催については、昨年の反省点や参加者の声を参考に、関係者で協議し、幹事会でのご意見も伺った上で決めさせていただく予定です。また、知道会との連携もよりいっそう密にして、同窓会活動を早い段階から知っていたりするような活動も積極的に進めてまいりたいと考えています。

現在、世間の情報交換の手段は LNE や Twitter、Instagram など、目的や好みに応じて多様化しています。その中において Facebook 上に開設された「水戸一高・水戸中学同窓会の交差点」には 1634 名（1 月 29 日時点）が登録しており、日々活発な情報発信がなされています。また登録者数もこの 1 年で 120 名増加していることを鑑みると、同窓会行事に対する期待と関心の高さを伺うことができます。今後もこの Facebook を情報発信の基軸としつつ、より参加意欲が高まるコンテンツの企画・発信をしていきたい所存です。

日頃の活動を多くの同窓生の皆さんに知っていただき、東京知道会に親しみを感じ、気軽に参加してみたいと思ってもらえるような雰囲気作りを目指して活動してまいりますので、引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。
以上

追記

2020 年に企画していた行事はコロナ禍の影響により、全てが中止となりました。しかし私は、同窓会組織も「新しい様式」に生まれ変わるチャンスと考えています。オンラインシステムの急速な普及が、リアルでは難しかった様々なことを可能にしてくれます。例えば、過年度では、年に一度しか開催できなかった組織委員会の会合も、ZOOM を利用することで 7 月以降、毎月開催できるようになりました。

そこで、まずはこの秋から「ZOOM を使ったオンライン同窓会」を推進していこうと考えています。東京知道会の ZOOM を活用して、学年やクラスなどのオンライン同窓会開催を支援いたします。

また、従前は開催のハードルが高かった、様々な業界で活躍する先輩と大学生をマッチングする「先輩と語る会」も、オンライン開催とすることで、双方の参加ハードルを大きく下げることが期待できます。OB 訪問など、リアルな就活が思うようにできずに困っている後輩大学生の一助になればと思っています。来春の開催を目処に準備を進めて参ります。今後の組織委員会に是非、ご期待ください。

企画委員会

企画委員長

平林宏子（昭和 62 年卒）

2019 年 企画委員会会務報告

2019 年は春、初夏、夏、秋の 4 回行事を実施しました。ご参加・ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。2020 年も会員同士の交流が深まる行事を企画していきたいと思えます。

○お花見の会

3 月 30 日（土） 参加者 49 人

・墨田区立隅田公園（水戸藩下屋敷跡）にて。

隅田公園は工事中で天気予報も定まらない不安定な中での実施でした、当日は雨に降られることなく、向島遊園、七福神をめぐり、桜咲く公園で楽しいひと時を過ごしました。

○女子グルメの会

5 月 19 日（日） 参加者 26 名

・ホテルニューオータニ 16 階 大観苑にて。

大先輩から、現役大学生まで、幅広い世代の女子が集結。おいしい料理とおしゃべりに花が咲きました。食後はニューオータニの庭園コース、迎賓館コースに分かれ散策。大満足な一日でした。

○夏休みの企画 7 月 27 日（土） 参加者 37 名

・羽田クロノゲート見学と江戸前アナゴを食す会

日本最大級の物流施設を見学しました。台風が心配されましたが、屋外移動中は降られることもなく、無事おいしいアナゴ天をいただきました。

○秋の歩く会

10 月 26 日（土） 参加者 19 名

・神田上水跡を歩く会

江戸川橋駅から、神田上水取水口大洗堰 z 跡に移動し、神田上水の跡をたどって小石川後樂園、東京水道歴史館・本郷給水所公苑まで歩きました。秋バラ咲く公苑で老舗のお寿司弁当をほおぼりながら、直前の台風水害の怖さと、江戸の水を確保するための先人達の知恵と努力に思いをはせました。

● 2020 年の活動について

・3 月 28 日（土）に「お花見の会」、5 月 17 日（日）には「女子グルメの会」を検討しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年度はリアルに集まる行事企画は、秋の歩く会を含め、中止いたします。

・9 月の総会が会場およびリモート（zoom）開催に伴い、zoom 練習会を開催。企画委員会は、なるべく多くの会員が参加できるようリモートに慣れない方のサポートをしました。

・今後も状況を見極め、東京知道会の判断に従って、企画を検討して行きます。実施

が決まりましたら、東京知道会ホームページ等でお知らせいたします。早くみなさまと一緒に、楽しい時間を過ごせる日を迎えられるよう、祈っています。その日まで、どうぞお気をつけてお過ごしくださいませ。

財務委員会

財務委員長

横山 博則（昭和 61 年卒）

東京知道会会員の皆様におかれましては、年会費のご納入、ご寄付を賜り誠にありがとうございました。まずは、御礼申し上げます。

財務委員会は令和元年/2019 年度より、委員長交代並びに平成卒委員も加わった新体制となりました。

役割としては以下となります。

東京知道会の運営組織である幹事会の中では、お金の流れの起点となる部門であり、会員拡大を図る組織委員会や、会計管理を行う事務局、各種イベントを行う企画委員会、会報制作を行う会報委員会など、各部門と常時相互に必要な情報を取りまとめて授受しております。

会員の皆様を含めた東京知道会全体の中では、地味ではありますが会の存続、発展の基盤となる役割を担っているチームと認識しております。

会員の皆様ならびに、広く卒業生の皆様へ向けた活動としては以下となります。

---会費、寄付納入の利便性向上について---

引き続き複数の納入窓口を設けました。

- ・自動振替

※詳細はこちらをご覧ください <http://www.tokyo-chido.com/jifuri.html> 振替費用負担はございません。

- ・会報添付のゆうちょ払込取扱票による払込
- ・銀行振込
- ・「同窓の集い（2月）」、「忘年会（12月）」での納入窓口設置
- ・その他各種イベントでの現金受領

---財務体質の安定化について---

- ・各種ツールを利用して会費納入のご案内の実施

- ・平成卒の若手会員獲得や女性会員の交流活動等の維持、強化を目的としたご寄付のお願い
- ・事務局ならびに組織委員会と協力し、幹事学年＋翌年幹事学年となる方々への集中した会報の発送による、同窓の集いの PR 並びに入会のお誘い

●2020 年度の活動状況

令和 2 年／2020 年におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で上記活動のうち「同窓の集い」をはじめ各種イベントが中止となり、会費の現金受領、新規会員の獲得に伴う会費の納入、ご寄付のお願いを行う機会を逸しております。このため会費およびご寄付とも前年に比べて減少しており、今後も減少幅が拡大することが予想されま

す。厳しい状況ではありますが、従来 of 活動のうち出来る範囲の活動により注力し、また会費納入、ご寄付を賜る新たな機会を模索しながら会員の皆様の利便性の向上と安定的な財務基盤の確保を図る所存です。

東京知道会が母校の卒業生にとって「世代を超えて」「楽しく」「有益な」コミュニティとして存続、発展するために、一人でも多くの方のご加入、年会費ご納入、ご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

会報委員会

会報委員長

栗田真人（昭和 57 年卒）

1. 2019 年度会務報告

東京知道会では、毎年 1 月と 7 月に会報を発行し、約 2,700 名の会員にお届けしています。2020 年 1 月の発行で通算 88 号に達しています。

会報委員会の主な活動は、編集会議での全体構成の検討で始まります。その後、「先輩訪問」に登場していただく各界で活躍の先輩へのインタビュー、「海外で活躍する同窓生」に寄稿いただく方の選定、一高の「今」を皆様に知っていただく「母校だより」準備、東京知道会の各種イベントへの参加及び参加者への寄稿依頼、他の委員会からのイベント情報収集等を行い、紙面を編集し発行します。発行後は、委員会内で皆様のフィードバックを共有し、次号以降に活かしています。

編集の際に主に心掛けていることは、「幅広い年代の同窓生に楽しんでいただける内

容」、「できるだけ旬な話題やお役に立つ情報」、そして「写真を多く盛り込むなど読みやすい紙面」の三点です。また毎年の「同窓の集い」講演者への深掘り取材、医療関係で活躍する方々を紹介する「健康最前線」等、紙面がマンネリ化しないよう、斬新な企画提案に努めています。なお、2015 年発行の第 79 号からは紙面を全面的にカラー印刷にしています。

これからは有益な読み物というだけでなく、多くの会員が様々な形で参加し、情報交換によって東京知道会ならではの地の利・人の和を生かせる—そのような会報をさらに目指してまいります。

また 2011 年に開始したメールによる会報配信は、徐々にご利用者数が増えています。当会の一層の効率運営のためにも、皆様にメール配信のお申し込みをお願いいたします。なお過去の会報（最新号を除く。現在、第 71 号から第 87 号まで）は、東京知道会のホームページ（<http://tokyo-chido.com/index.html>）でご覧いただけますので、是非ご利用ください。

2. 2020 年度の活動状況

新型コロナ禍の影響で例年 2 月開催の同窓の集い・東京知道会総会が中止になり、またインタビューなどの情報収集活動等ができなかったため、7 月発行の予定であった第 89 号は発行延期となりました。会報を待ち望んでおられた会員の皆様には謹んでお詫び申し上げます。

今後もしばらくは新型コロナ禍の影響が続き、仕事も余暇もニューノーマル化していくと思われま。こうした中で同窓会の活動もそれに対応した形に変わっていくのですが、会報も少しずつ世の中の流れに合わせて成長していきたいと考えています。

2019年度 決算報告書
収支計算書
(2019年1月1日から2019年12月31日まで)

【一般会計】

(収入の部)

(単位:円)

項目	当期	前期	増減額
年会費収入	2,064,000 688名	2,088,000 696名	△ 24,000
総会会費収入	2,064,000 359名	1,945,000 340名	119,000
総会寄付収入	299,000	211,001	87,999
総会広告収入	930,000	950,000	△ 20,000
その他寄付収入	519,000	532,000	△ 13,000
受取利息	14	8	6
特別会計(基金)取崩益	133,380	363,753	△ 230,373
収入合計	6,009,394	6,089,762	△ 80,368

(支出の部)

項目	当期	前期	増減額
総会関連費用	2,816,023	2,550,283	265,740
会報印刷発送費用	1,726,031	1,802,146	△ 76,115
貸会議室使用料	143,266	206,350	△ 63,084
若手高揚費	133,380	363,753	△ 230,373
消耗品費	107,046	63,192	43,854
振込手数料	89,037	84,268	4,769
交際費	49,240	25,346	23,894
通信費	24,592	21,223	3,369
ホームページ等運営費	82,602	120,000	△ 37,398
旅費交通費	3,074	24,676	△ 21,602
雑費	1,296	1,728	△ 432
支出合計	5,175,587	5,262,965	△ 87,378

項目	当期	前期	増減額
当期収支差額	833,807	826,797	7,010
前期繰越収支差額	2,537,739	1,710,942	826,797
一般会計次期繰越収支差額	3,371,546	2,537,739	833,807

【特別会計】

(1)基本財産

項目	当期	前期	増減額
収入	1,548	1,548	0
支出	0	0	0
当期収支差額	1,548	1,548	0
前期繰越収支差額	18,283,066	18,281,518	1,548
基本財産次期繰越収支差額	18,284,614	18,283,066	1,548

(2)基金(山見進一士気高揚基金)

項目	当期	前期	増減額
収入	11	13	△ 2
基金取崩損	133,380	363,753	△ 230,373
支出合計	133,380	363,753	△ 230,373
当期収支差額	△ 133,369	△ 363,740	230,371
前期繰越収支差額	1,027,825	1,391,565	△ 363,740
基金次期繰越収支差額	894,456	1,027,825	△ 133,369

特別会計次期繰越収支差額	19,179,070	19,310,891	△ 131,821
--------------	------------	------------	-----------

【合計】

合計次期繰越収支差額	22,550,616	21,848,630	701,986
------------	------------	------------	---------

貸借対照表 兼 財産目録

(2019年12月31日現在)

(単位:円)

項目	当期	前期	備考
【資産の部】			
郵便貯金(一般会計分)	1,091,585	862,154	霞ヶ関郵便局
銀行普通預金(一般会計分)	2,016,541	1,511,165	三菱UFJ、三井住友、常陽
銀行普通預金(特別会計(基金)分)	894,456	1,027,825	みずほ
銀行定期預金(特別会計(基本財産)分)	18,284,614	18,283,066	三菱UFJ、三井住友
ソフトウェア(ホームページ管理システム)	290,420	290,420	23.1.17取得 取得価格で計上
ソフトウェア(名簿管理システム)	441,000	441,000	23.8.25取得 取得価格で計上
資産合計	23,018,616	22,415,630	
【負債の部】			
前受金	468,000	567,000	終身会費、年会費前納分
負債合計	468,000	567,000	
【正味財産内訳】			
一般会計	3,371,546	2,537,739	
特別会計(基本財産)	18,284,614	18,283,066	
特別会計(基金)	894,456	1,027,825	
正味財産合計	22,550,616	21,848,630	
負債・正味財産合計	23,018,616	22,415,630	

上記決算報告書を監査した結果、記録は正確であり、会計処理は適正であることを報告します。

2020年1月19日

会計監事

門馬 俊光

保坂 賢司